

※※2008年8月改訂(第4版)  
 ※2005年6月改訂(第3版)

## 糖 類 剤

## ※※ブドウ糖「ヨシダ」

日本薬局方

ブドウ糖

Glucose

日本標準商品分類番号

873231

承認番号	(08AM)0738
薬価収載	1996年6月
販売開始	1996年9月
再評価結果	1977年10月

貯 法：気密容器、室温保存  
 使用期限：ラベル等に記載

## 【禁 忌(次の患者には使用しないこと)】

ブドウ糖吸収不良の患者〔激しい下痢、脱水等をおこすおそれがある。〕

## 【組成・性状】

## 1. 組 成

本剤1g中、日局ブドウ糖1gを含む。

## 2. 製剤の性状

本剤は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。

本剤は水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

## 【効能・効果】

(経 口)

経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

## 【用法・用量】

(経 口)

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

ブドウ糖負荷試験には、通常成人1回ブドウ糖として50～100gを経口投与する。なお、年齢・体重により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

## 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1) カリウム欠乏傾向のある患者〔ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。〕

(2) 糖尿病の患者〔高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。〕

## 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻 度 不 明
消 化 器	大量投与するとき悪心・嘔吐、下痢、腹痛 <sup>注)</sup>

注) 慎重に投与すること。

## 3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

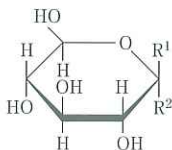
一般名：ブドウ糖 (Glucose)

化学名：D-Glucopyranose

分子式：C<sub>6</sub>H<sub>12</sub>O<sub>6</sub>

分子量：180.16

構造式：



$\alpha$ -D-グルコピラノース：R<sup>1</sup>=H, R<sup>2</sup>=OH

$\beta$ -D-グルコピラノース：R<sup>1</sup>=OH, R<sup>2</sup>=H

## 【包 装】

500g

## 【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10

TEL 03-3381-2004

FAX 03-3381-7728

※



製造販売元

吉田製薬株式会社  
 埼玉県狭山市南入曾951